EU Indicators

欧州経済指標コメント：５月英国労働統計

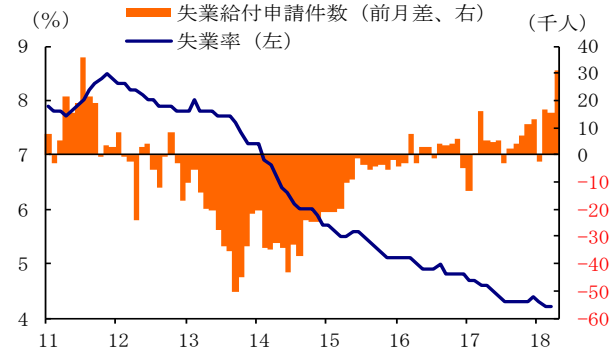
発表日：2018年5月15日（火）

～失業率低下・賃金上昇加速もそろそろ一服か～

第一生命経済研究所　経済調査部
主席エコノミスト　田中　理
03-5221-4527

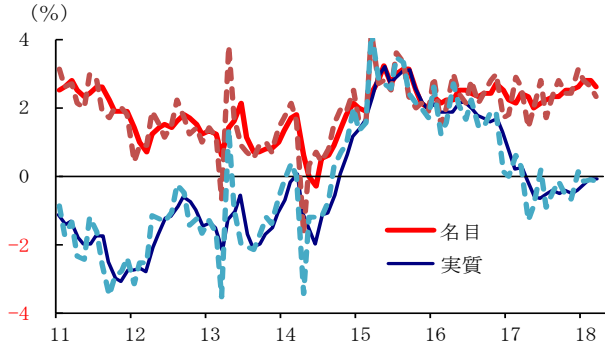
- 労働力調査ベースの英国の失業率は、３月から遡って３ヶ月の移動平均値で4.2％と、1975年以来の最低水準を更新した前月から不変。就業者数が３ヶ月前の３ヶ月移動平均値から19.7万人増加と、前月の同5.5万人増加から再加速し、2015年12月以来の高い伸びを記録。単月の失業率は、新たに計算に加わった３月値が4.37％と、同一サンプルの昨年12月（4.40％）から微減。４月値が4.05～4.34％（同一サンプルの１月値は4.26％）の間におさまると、来月のヘッドライン（３ヶ月移動平均値）は今月から不変の計算で、一段と低下する可能性は低い。
- 全産業の週当たり賃金（賞与を含む）は、３月から遡って３ヶ月の移動平均で前年比＋2.6％と、前月の同＋2.8％から減速。ただ、賞与を除く賃金は前月：同＋2.8％→今月：同＋2.9％と加速。賃金の基調は徐々に加速傾向。インフレ率のピークアウトと相俟って、実質賃金の目減りが解消されてきた。前年同月の推移から判断して、賃金上昇率は向こう数ヶ月が一旦のピークとなりそう。
- ＢＯＥは５月の金融政策委員会（ＭＰＣ）で利上げを見送り。失業率の低下基調が続くなか、賃金上昇圧力が徐々に高まりつつあり、年内追加利上げの可能性も排除していない。ただ、追加の金融引き締めを待つことによるコストがそれほど高くないことも示唆しており、利上げを急ぐ様子はない。

■英国：失業率と失業給付申請件数



出所：英国統計局

■英国：週当たり賃金・賞与（全産業、前年比）



注：実線は３ヶ月移動平均値　　出所：英国統計局

■英国の失業給付・平均賃金

	2017							2018			
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
失業率（失業給付、%）	2.2	2.2	2.2	2.2	2.3	2.3	2.3	2.3	2.4	2.4	2.5
失業給付件数（前月差、千人）	5.2	-3.1	2.1	4.3	7.1	11.1	12.9	-2.3	16.6	15.7	31.3
失業率（労働力調査、%）	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.2	－
（単月の失業率、%）	4.29	4.38	4.24	4.13	4.44	4.28	4.39	4.27	4.02	4.37	－
就業者数（前月差、千人）	126	182	95	-14	-56	102	88	168	55	197	－
週当たり賃金（産業計、前年比、%）	2.1	2.2	2.3	2.3	2.5	2.5	2.6	2.8	2.8	2.6	－
賃金	2.1	2.2	2.2	2.2	2.3	2.3	2.5	2.6	2.8	2.9	－
ボーナス	3.3	1.7	4.7	5.0	8.5	8.1	5.2	6.1	4.6	1.2	－

注：労働力調査基準の失業率、就業者数、週当たり賃金は当月で終わる３ヶ月移動平均　出所：英国統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。